

一六
十月

うおづや



魚津の三大不可見ちやあな

「辰気楼」ちやあな

春の雪どけ水が
海に流れ込んで
海水と大気との温度差
によって光が屈折して
海の中の建物や遠く
沖に浮かぶ船などが
逆さまになつて写つて
浮かぶよる現象のこと
ことながで5月の
連休(アレデシウイク)
あたりが風のたふ
よく晴れた日に突然
に現れるがやせ
いやん見にくくてたほれ
待こつちやあな

本来の風景が反転して
何倍も面白くなるよ

「ホルイカ」



きいた時に魚が始まり
岸のところでもとれる
夜の海でホルイカの
青白いふかりさや
えらいきれいな
もんやちやあなよ

「埋没林」すごがる

大昔(三千年前)杉林が
海に沈んで根っこ
だけかそのま
の形で発掘され
大きいものは太さ
4m樹齢数百年
年のものもあり
この根っこが腐ら
んと残ると地下水
海の底からきれいな地下水
が湧き出て根っこを守つて



来た。十一月十日(木)
北陸は、富山の魚澤のお店

うおづや



はじまします。自らの料理
海のものとのてあります。